

4. 子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ

小・中・高校生向けに上質な音楽を提供するコンサート・シリーズ



ロンドン交響楽団～魔法の冒険～（2013年3月）

当財団では次世代を担う子どもたちに向けて、“For the Next Generation”の精神に基づき、さまざまな活動をしています。このコンサート・シリーズは、世界的に活躍するアーティストの創造する芸術を身近に体験してもらいたい、との願いから2004年に誕生しました。これは人気企画でもある未就学児を対象にした「Concert for KIDS」をさらに発展させ、小学生・中学生・高校生を主に対象としたシリーズです。

vol.9 ロンドン交響楽団～魔法の冒険～ 2013年3月



世界のトップクラスのオーケストラ、ロンドン交響楽団が、子どもたちに向けてこの日だけの特別プログラムをお届けしました。スクリーンを使った映像と、プレゼンターのレイチェル・リーチによるお話で進行し、客席の子どもたちもステージに上がって演奏するなど、にぎやかなコンサートとなりました。

vol.5 THE PIANO ～リズム!メロディ!ハーモニー! 2008年7月-11月

2008年はピアノが誕生して約300年、その魅力を伝える3つの演奏会を実施。第1弾のメシアン「時の終わりのための四重奏曲」、第2弾のトーン・キョンストラ管、上原彩子(Pf)によるグリーグのピアノ協奏曲、第3弾のファジル・サイによるピアノソロの素晴らしい演奏は、子どもたちを釘付けにしました。

vol.8 鼓童～生命のリズム～ 2011年12月



初めての伝統芸能音楽、和太鼓が登場。佐渡を拠点に世界中で活躍する鼓童の結成30周年という時期に実現したコラボレーション企画。劇場での舞台芸術は迫力と生命力に溢れ、「太鼓」の魅力を存分に発揮した公演でした。

vol.4 三世代で聴く、イ・ムジチの「四季」 2007年11月



1963年の初来日以来高い人気を誇るイタリアのイ・ムジチ合奏団。子どもを中心とした三世代にむけて、ヴィヴァルディの名曲「四季」の演奏会を開催しました。

vol.7-2 シモン・ポリバル・ブラス・クインテット / クリスマス・コンサート 2010年12月



「エル・システム」という社会教育制度から発祥、南米ベネズエラからフランシスコ・フロレス率いる金管五重奏団の来日時に実現。ブラスの定番曲や南米の作品からクリスマス・メドレーまで、楽しいコンサートとなりました。

vol.3 オペラ・ファンタスティーク「レ・パラダン-遍歴騎士-」 2006年8月-11月



バロック・オペラと現代ダンスが融合したオペラ「レ・パラダン-遍歴騎士-」(ジャン＝フィリップ・ラモール作曲)。①「ホップ!」ダンス・ワークショップ、②「ステップ!!」観賞ガイドダンス、③「ジャンプ!!!」オペラ鑑賞、と3つのステップによる企画を実現しました。

vol.7-1 ニコラウス・アーノンクール(指揮) ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス / 公開リハーサル 2010年11月



巨匠アーノンクールとピリオド楽器オーケストラのバイオニア、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスの最後の来日公演に合わせて実現した特別な公開リハーサル。

vol.2 大野和士 / ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)による オペラ「ドン・ジョヴァンニ」 2005年10月

2004年の「ヤング・ピープルズ・コンサート」のアンケートより「子どもたちにオペラを」という声を受けて開催。「齋藤秀雄メモリアル基金賞」の第1回受賞者でもある大野和士が音楽監督をつとめるベルギー王立歌劇場により、特別に子どもたちに向けたオペラ上演を行いました。

vol.6 大野和士(指揮) フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団 2009年11月



〈全身で音楽を表現する〉ことをテーマにした、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団の来日公演。NHKとの共同企画によるワークショップも実施。「身体表現」に取り組んだ子どもたちの様子がドキュメント番組として放映されました。

vol.1 庄司紗矢香、マゼール(指揮) ニューヨーク・フィルハーモニック「ヤング・ピープルズ・コンサート」 2004年10月



ニューヨーク・フィルハーモニックの伝統的な教育プログラム「ヤング・ピープルズ・コンサート」が、初めて海外で行われたことで話題を集めました。指揮者はロリン・マゼール、ソリストは実力、人気ともに世界の注目を集めるヴァイオリニスト庄司紗矢香が参加しました。